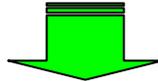




## 1 丹波地域ビジョンの改訂について

時代潮流の変化を踏まえながら、地域住民・関係団体の皆さんから寄せられた意見等をもとに、現行のビジョンを点検・評価し、改訂版を策定しました。

現行丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」(2001年(平成13年)策定) (想定年次2015年(平成27年))



丹波地域ビジョン改訂版「みんなで丹波の森」(2011年(平成23年)策定) (想定年次2020年(平成32年))

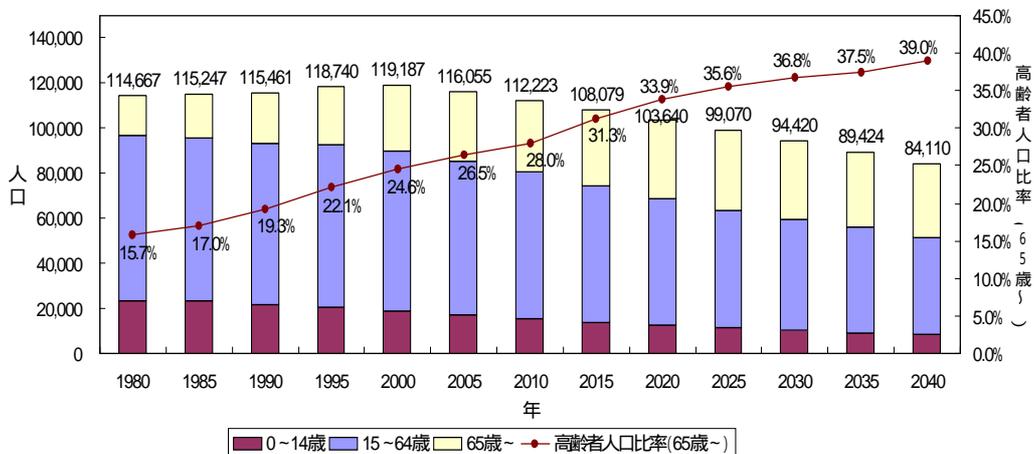
## 2 ビジョン策定(平成13年2月)以降の地域をとりまく変化

### (1) 人口減少社会の到来

高齢化率上昇、出生率減少による人口減少社会を迎えています。丹波地域外への人口流出も課題です。

- ・人口は、119千人(平成12年) 111千人(平成22年)と10年間で8千人の減少。
- ・将来推計人口は、116千人(平成17年) 84千人(平成52年)と27.6%の減少の見込み。

丹波地域の人口の推移予測(2005年までは実績値)



- (2) 地域産業の状況 総生産額は、3,891億円(平成13年) 3,524億円(平成20年)と367億円減少。
- (3) 住民による地域づくり活動の活発化 恐竜化石など丹波地域の特色を生かした地域づくり等が進展。
- (4) 交流活動の多様化 観光客は横ばいで宿泊客数減少の一方、丹波地域への田舎暮らし希望者の動き。
- (5) 環境意識の高まり 住民等による自然環境保全や企業と地域が連携した森・里づくり等の取組が進行。
- (6) 地域コミュニティの機能の低下 担い手不足等で地域コミュニティ機能が低下する一方、移住者や丹波地域との交流を進める団体等の動き。
- (7) 農林業の状況 丹波黒大豆等が丹波ブランドとして評価の一方、高齢化や担い手不足、野生動物被害が発生。
- (8) 情報化の進展 ICT(情報通信技術)の有効活用で生活利便性が高まる一方、情報格差が発生。
- (9) 安全・安心意識の高まり 台風・集中豪雨被害の発生等により、安全・安心に対する住民意識が向上。地域医療を担う医師の不足に対する住民側からの取組も開始。
- (10) ユニバーサル社会への社会的要請の高まり 安心して暮らせる地域づくりを目指す取組が進行。

### 3 これまでの地域での取組内容・活動成果

#### (1) 第1期～第4期丹波地域ビジョン委員会の取組内容

延べ466名のビジョン委員が、丹波地域ビジョンの実現に向け、平成13年から平成20年までの8年間に様々な活動を展開しました。

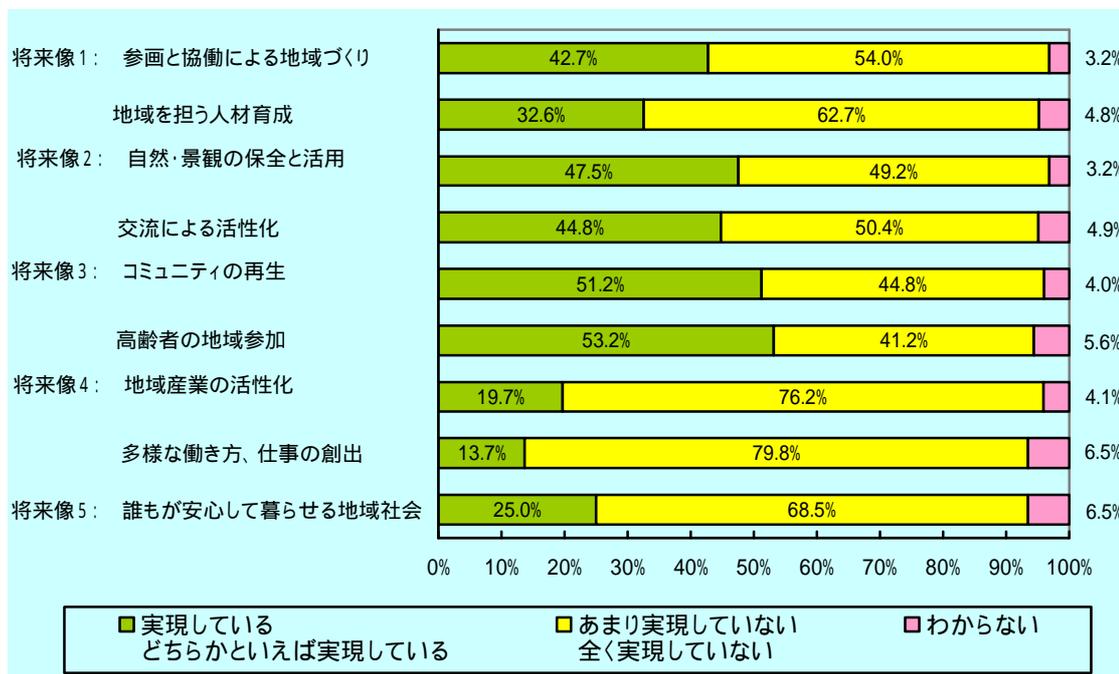
#### (2) 第5期丹波地域ビジョン委員会の取組内容

101名が、10の実践活動グループにおいて具体的な取組を実施しています。

#### (3) 将来像の実現状況

丹波地域ビジョン委員等を対象とした調査を実施したところ、5つの将来像の達成状況は次のとおりです。

- ・将来像1（丹波のことは自分たちで決める仕組み）：3割～4割が実現
- ・将来像2（都会に近い田舎）：5割弱が実現
- ・将来像3（多世代が支え合う豊かなコミュニティ）：半数以上が実現
- ・将来像4（幅広い働き方・いろいろな職種・手応えを感じる社会活動）：7割以上が実現していない
- ・将来像5（無意識のうちにつくられているバリアがない地域）：7割弱が実現していない



#### (4) 地域ビジョンの実現に向けた取組の成果

400名以上のビジョン委員が「森の市民」（地域内外を問わず、丹波地域に誇りと愛着を持ち、丹波の地域づくりに責任を持って行動する自立した人々等）として、地域内外の人々や団体と連携しながら、丹波地域の魅力づくりに取り組んだ結果、幅広い分野で主体的・自立的な取組が展開されています。

##### 地域を担う多様な人材の育成が進展

地域づくりニューリーダー塾で50名の塾生が巣立ち、様々な分野・地域で活躍。また、委員の活動の中からNPO法人が設立。

##### モデルとなる地域づくり活動が展開

市民による創作オペラ「おさん茂兵衛」の上演など、地域の特色を活かした活動や県民交流広場を拠点とした活動が展開。

##### 団体間の協働による取組が拡大

ビジョン委員による自治会での男女共同参画出前紙芝居の実施など、ビジョン委員会と自治会等との協働による事業等が実施。

##### 住民提案型の地域づくりが普及

篠山市におけるまちづくり100人委員会による住民参加のまちづくり提案といった、主体的な住民参加の取組が進展。

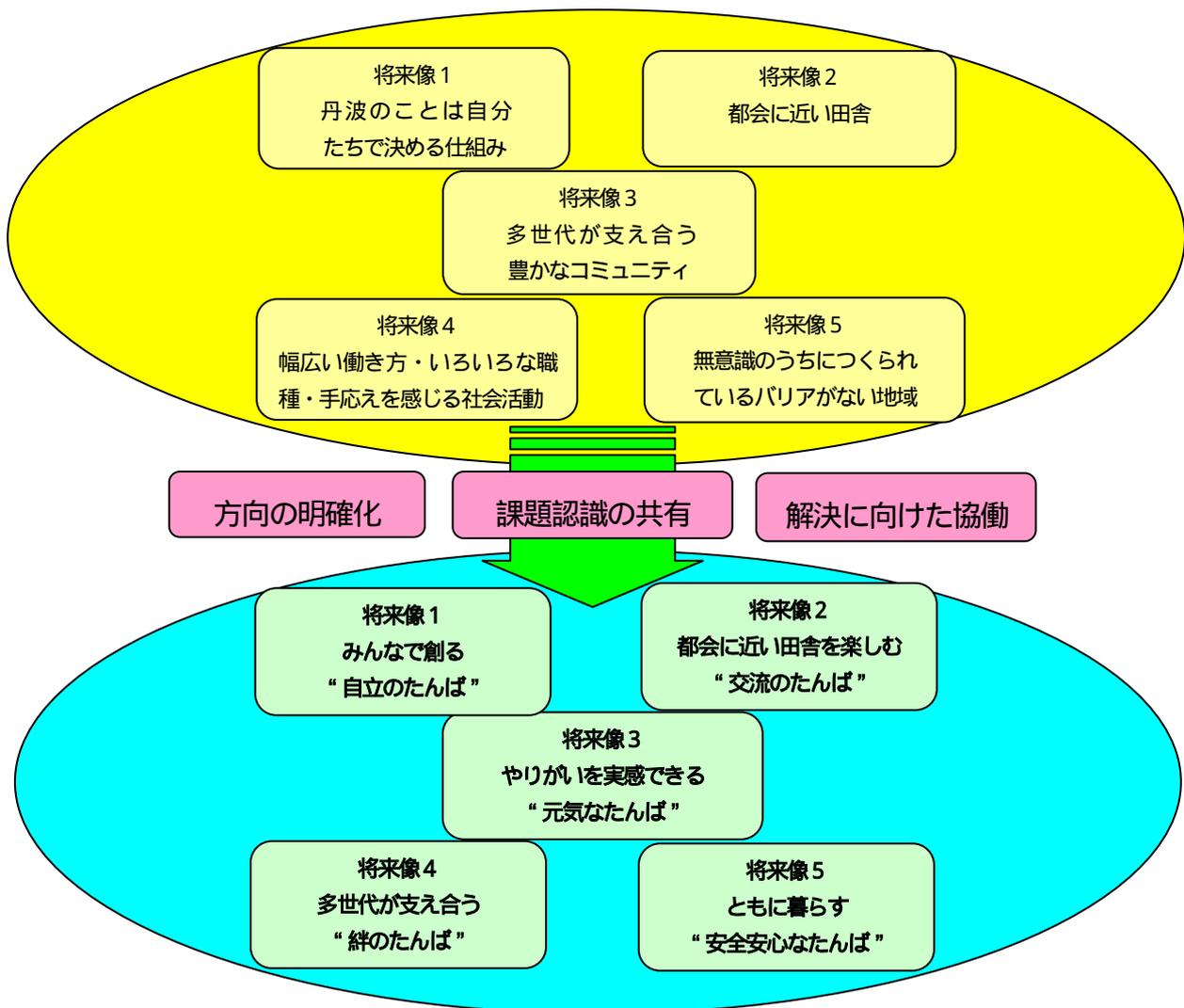
## 4 丹波地域の新たな課題について

丹波の森夢会議や地域ビジョン検討委員会、たんば夢フォーラム、各種団体等へのアンケート調査の結果等から、次の課題が明らかとなっています。

- (1) 住民の地域づくりへの参加 地域課題の情報共有や住民が様々な形で参画できる仕組み。
- (2) 豊かな自然と景観の保全 昔から受け継がれてきた自然や景観を再認識し次代への継承。
- (3) 都市部や京都丹波等との交流・連携 丹波地域の田舎暮らしの発信による交流や定住の促進、都市部の住民や企業・大学等と連携した空間の活用。京都丹波等との広域連携。
- (4) 子育て環境づくり 子どもが健康で育ち、学ぶ環境整備や地域で子どもを育む環境の復活。
- (5) 高齢者の社会参加 高齢者が健康で生きがいを持って暮らせる地域づくりや交通手段の確保。
- (6) 農林業・地域産業の振興 多様な担い手育成や農地等の有効活用。また、地域ブランドや地域特性を踏まえたものづくりによる産業活性化・雇用創出。
- (7) 多様な働き方等の促進 ライフステージに応じた多様な働き方や社会的起業の促進、個人の能力が発揮できる環境づくりを通じた地域活動の活性化。
- (8) ICTの活用 幅広い分野でICTの積極活用や地域全体の情報発信能力・情報活用能力の向上。
- (9) 若者の定着 雇用の創出や地域での活躍の場づくり、若者にとって魅力ある地域づくり。
- (10) 安全安心な社会づくり 誰もが安心して暮らせる地域の実現、防災・防犯、地域医療を支える取組の推進。

## 5 丹波地域の将来像について

現行ビジョンに係る5つの将来像の基本的な方向は変えませんが、だれもがわかりやすい方向を明確にし、ビジョンの実現に向けた課題認識を共有し、解決に協働して取り組めるよう見直しを行いました。



## 6 新たな将来像を実現するための取組の方向

丹波地域が持つ資源を最大限活用し、丹波地域の魅力を創造するための取組の方向は次のとおりです。

### 将来像1：みんなで創る“自立のたんば”

地域の魅力発掘と情報発信、地域を担う人材の育成、地域づくりへの住民参加の推進、地域で活動する団体の連携推進

### 将来像2：都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”

森・川・里の豊かな自然の保全と活用、環境に優しい地域づくりの推進、環境学習フィールドづくり、美しい景観づくりの推進、都市との多彩な交流の推進、丹波の田舎暮らし情報の発信

### 将来像3：やりがいを実感できる“元気なたんば”

地域の産業をリードする農林業の振興、商店街の活性化・ものづくり産業の振興、丹波の魅力を活かしたツーリズムの推進、地域の資源を活かした「しごと」の創出、地域づくり活動・文化活動の推進、若者の就労促進

### 将来像4：多世代が支え合う“絆のたんば”

地域コミュニティの再生、地域ぐるみでの子育て推進、高齢者が安心して暮らせる地域づくり、高齢者が活躍できる地域づくり

### 将来像5：ともに暮らす“安全安心なたんば”

誰もが暮らしやすいユニバーサル社会の実現、障害のある人も外国人も共に暮らす地域社会の実現、医療や健康、食の安全が確保された安心な地域の実現、災害に強く、犯罪のない地域づくりの推進

## 7 新たな将来像の実現に向けて

### (1) 取組姿勢

現行丹波地域ビジョンの「いのちをはぐくむ・自然の環」「ひとをはぐくむ・人間の環」「なりわいをはぐくむ・産業の環」の3つの環の考え方を基本としながら、住民、団体、企業、行政等が連携し、主体的な取組を進めていきます。

### (2) シンボルプロジェクトの展開

平成18年度に設定したシンボルプロジェクト『たんば田舎暮らし支援プロジェクト』を発展させ、『たんばを楽しむ連携・交流プロジェクト』として設定し、住民と行政が協力して取組を進めていきます。

#### 【取組例】

- ・丹波地域に人を呼び込むため、魅力あふれる田舎暮らしを積極的に情報発信する
- ・空き家を活用した体験・交流施設をつくり、週末等の短期滞在、さらに定住化につなげていく
- ・田舎暮らし支援を行うとともに、都市からの移住者のネットワークづくりを進める
- ・京都丹波との連携により、「大丹波」の魅力をアピールしていく
- ・企業や大学と連携した森・里づくりや地域づくりを推進する
- ・食と農、文化、恐竜化石など多様な地域資源を活用した都市との交流を進め、丹波地域の魅力を高めることにより、地域内外で「丹波ファン」を増やす

### (3) 取組体制

地域内外の様々な主体が参画と協働の理念のもと、適切な役割分担を行い、多重的なネットワークを形成して、連携と協力を図ることができるよう、丹波地域ビジョン委員会は、企業、NPO、自治会、まちづくり協議会等との連携を進め、地域のコーディネート役として、ビジョン実現の具体化に向けた取組を進めていきます。

成長しつづける丹波の夢ビジョン改訂版 みんなで丹波の森（平成23年10月）

丹波地域ビジョン委員会・兵庫県丹波県民局

事務局：兵庫県丹波県民局県民室ビジョン課 〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 688

電話：0795-72-0500（代表） FAX：0795-72-3013